

1 施設等の概要

(1) 設置の目的

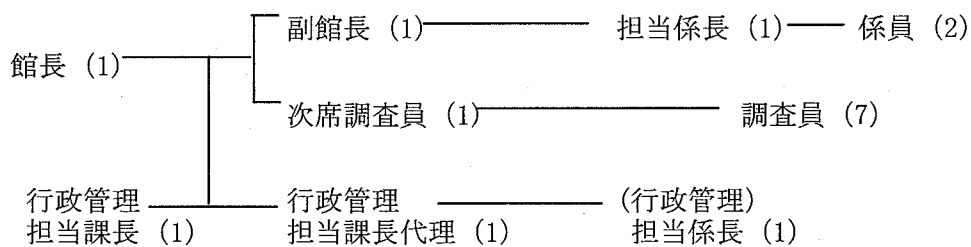
大阪市公文書館は、歴史的文化的価値を有する公文書その他の記録を保存し、広く一般の利用に供することを目的としています。

(2) 業 務

- ア 歴史的文化的価値を有する公文書その他の記録（以下「公文書等」という。）の収集、整理及び保存に関すること
- イ 公文書等の利用に関すること
- ウ 公文書等に関する調査研究及び普及活動に関すること

(3) 組 織

市 長 ———— 総務局 ———— 行政部 ———— 公文書館

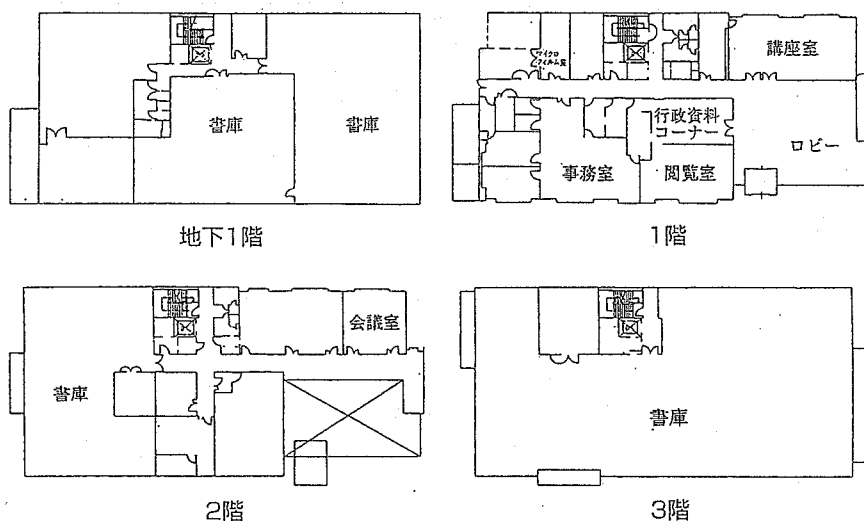


(平成21年6月1日現在)

(4) 施 設

○ 開 設	昭和63年7月1日
○ 構 造 ・ 規 模	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上3階建
	建築面積 937.89㎡
	延床面積 3,498.31㎡
○ 施 設 内 容	書 庫 1,650.00㎡
	閱 覧 室 126.09㎡
	講 座 室 100.64㎡

○各階平面図



(5) 公文書館設立までの経過

- 昭和51年 5月 (1976) 「大阪市文書保存研究会」(宮本又次大阪大学名誉教授ほか9名)設置、文書管理のあり方について調査研究を開始する。
- 昭和52年 3月 (1977) 同上研究会が公文書館の必要性を報告する。
- 8月 同上研究会報告に基づき、当面の措置として小学校の空き教室を利用して、堂島資料室を設置。戦前の公文書中心に集中保存を行う。
- 昭和55年 3月 (1980) 資料室を増設
- 昭和55年～56年 「大阪歴史学会」「大阪歴史科学協議会」等各界から大阪市公文書館の設立の要望が相次ぐ。
- 昭和56年 7月 (1981) 堂島資料室に嘱託員2名を置き、公文書の整理を始める。
- 昭和57年 3月 (1982) 市会において、公文書館設立について質疑。早期設置の要望が出る。
- 10月 公文書館の設置に関する具体的事項について調査研究を行うため、「大阪市公文書館研究会」(牧英正大阪市立大学教授ほか6名)を設置する。
- 昭和58年 8月 (1983) 保存期間満了の文書の中から、歴史的文化的価値のある文書の選別収集を開始する。
- 昭和59年 5月 (1984) 「大阪市公文書館研究会」が報告をまとめる。
- 7月 「大阪市公文書館研究会」に専門員(学識経験者3名)を置き、歴史的文化的価値を有する公文書の収集基準の検討作業を始める(～昭和60年8月)。
- 昭和61年 3月 (1986) 公文書館建設予定地の地質調査を行う。
- 9月 公文書館の基本計画がまとまる。
- 12月 公文書館の実施計画がまとまる。
- 昭和62年 4月 (1987) 公文書館の建設工事着手
- 12月 「公文書館法」公布
- 昭和63年 4月 (1988) 「大阪市公文書館条例」公布
- 5月 公文書館竣工
- 昭和63年 7月 公文書館開館